

# 発見! あのだ町&あのだ駅

## 散策マップ

京阪電車・嵐電(京福電車)・叡電 全125駅を巡ります

今回は 叡山電車 鞍馬線の 鞍馬 Kurama くらま

京都の北部、美しい山並みに囲まれた鞍馬の町。天狗伝説が残る鞍馬山とその中腹にある鞍馬寺が、神聖な空気漂うパワースポットとして全国的にも有名! ふもとの門前町には、自然豊かな里山の伝統・文化が感じられるグルメやお土産がそろっています。【文とイラスト にしむらさち】



### 霊山・鞍馬山に鎮座する神秘的な寺院

**1 鞍馬寺**  
くらまから びしゃもんてんのう 毘沙門天王の使いは狛犬ならぬ狛虎

770(宝亀元)年、鑑真和上の高弟・金監禎上人が毘沙門天をまつたのが始まりとされる古刹。平安時代には貴族がこぞて参詣したと伝わり、「枕草子」や「更科日記」にもその名が記されています。月・太陽・大地を表す千手観音菩薩・毘沙門天・護法魔王尊をまつり、鞍馬山の自然に感謝し、守り伝えていく植樹活動などにも力を注いでいます。

昔から天狗が住むとされ、謡曲「鞍馬天狗」の舞台となった場所

### 鞍馬山は自然の宝庫

野鳥やムササビなど、多彩な生き物が生息! 山中には「ジュラ紀(約2億年前)の砂岩」といった地質に関する説明書きも。

日本海からはるばる峠を越えて京の町まで、食材を運ぶ人々が通った道

江戸時代に建てられた匠斎庵(国の重要文化財)には牛や馬をつなぐ環金具が今も残っています

いくえにも折れ曲がった坂道。清少納言が「枕草子」につづった通り、近くて遠い〜!

### くらま辻井

しょうさいあん 匠斎庵 (龍澤家住宅)



3の分店 営業は土・日・祝日のみ。みたらし団子と秋は焼き芋も!

ヨガなどのワークショップに利用されている1棟貸しのギャラリー



**伝説** 源義経(幼名・牛若丸)は、昼は学問、夜は鞍馬山の木の根道で、天狗と武術の修行を重ねたと伝説

地盤が固く、地中に根を張れない杉の根が地表に!

仙像と寺宝、山の動植物の標本などが並んでいます

**本殿金堂** 宇宙のエネルギーが広がる、ほしんだら星曼荼羅を模した、パワースポットと言われる「金剛床」

掛け声はサイレイヤ、サイリョウ!

### 鞍馬の火祭りで知られる氏神様

### 2 由岐神社

ゆきじんじや 940(天慶3)年、天変地異をしずめるため、朱雀天皇の命により京都御所から遷宮された日本三大火祭りに数えられる勇壮な例祭

豊臣秀頼が再建したという、中央に通路がある割拝殿



日本庭園などに使われる、鞍馬石が置かれたフォトスポット

中原駅から二ノ瀬駅間には「もみじのトンネル」もあり、旅気分が盛り上がる〜!

大きな窓から景色を満喫できる展望列車「きらら」が運行中!

### 鞍馬寺御用達! 食事を通して心も身体も元気になる憩いの場

### 3 雍州路

鞍馬寺の山門前にある、民芸調の風情ある建物。鞍馬寺の僧侶だった店主が開いた食事処で、地元の山菜や季節の食材を使った精進料理をはじめ、本わらび餅やぜんざいなどの甘味も充実! 自然と会話が生まれる、集いの場といったムードも魅力的。



気軽に喫茶利用も! 湧き水「鞍馬観音水」を使用したメニューが評判!

炭火で焙じた番茶も自慢!

「くらま山 精進膳」2,750円 季節のご飯とろろそば、田楽、果物など盛りだくさん!

気軽に来てくださいね!

本わらび粉100%の「わらび餅」600円

「珈琲」500円

店主の娘・有里さんの明るい人柄にひかれて訪れる常連さんもいっぱい!

### 馬場から近くて休憩にぴったり! 家庭的なムードで、ほっと和めるおそば屋さん

### 4 和み家 心天狗

鞍馬に来て良かったと感じてほしいという思いから開業したという、地元愛あふれるお店。座敷席もあり、井戸水を使って打つ「二ハそば」と、葉とうがらしや手作りのちりめん山椒入りのおにぎりなどがゆったりと楽しめます。



5つの味がそろった「おにぎり」1個 160円

ニハそばに薬味たっぷり、ぶっかけスタイル

注文を受けてから作ってくれ、秋は山上で食べる人が多いそう

「心天狗そば」980円 おにぎり、小鉢、わらび餅付きの定食は1,200円

### 手間を惜まず昔ながらの手法を守る! 京つくだ煮をお土産に

### 5 くらま辻井

この辺りでは昔から、山菜を摘み、各家庭でつくだ煮を作っていたそう。辻井家は元々炭問屋を営んでいて、配達先におそそけしていた味が評判となり、先々代からつくだ煮店に! 鞍馬銘産の木の芽煮を筆頭に、山の恵みや天然の北海道産利尻昆布など、厳選素材をじっくり炊き上げた、様々な種類の京つくだ煮が並びます。



社長の辻井さん 商品の1枚1枚、竹の皮で包んでる大女将

おきのこない味で、ご飯がすすむ〜! 看板商品 利尻昆布と山椒の実、葉の風味を生かした

鞍馬山の桜を表す名が付いた精進菜しぐれ 909・648円

- 1 鞍馬寺** ●9時~16時15分 高校生以上300円 ※霊宝殿は16時まで 月曜(祝日は翌日)休館 大人200円・小中生100円 ●075-741-2003
- 2 由岐神社** ●境内自由 ●075-741-1670
- 3 雍州路** ●10時~17時30分(L.O.) 火曜(祝日を除く)休業 ●075-741-2848
- 4 和み家 心天狗** ●9時30分~16時30分 ※売り切れ次第終了 不定休 ●075-741-2257
- 5 くらま辻井** ●10時~17時 水曜休業 ●075-741-1121

**鞍馬 取材memo** その昔、峠を越え多くの人が行き交った街道沿いの宿場町。今も、この町や鞍馬寺を愛するパワフルで個性豊かなみなさんが、訪れる参拝者を温かく迎えてくれます。

今回は 京阪電車の 清水五条 Kiyomizu-gojo